

ダム事業改革の取り組み

ダム事業については、社会経済情勢の変化等に伴う事業を巡る批判や新たなニーズに積極的に応えるべく、事業マネジメントの徹底、透明性の確保、より効率的な予算執行、コスト削減の新たな取り組み、環境への配慮、既存ダムの活用等の取り組みを通じて、ダム事業改革を推進する。

事業マネジメントの徹底・透明性の確保

★全国の直轄及び水機構のダムで工程・コスト統合管理システムを本格運用し、工程・コスト管理を徹底

■アロー図による工程管理
■クリティカルパスの把握

■各部門における共有管理
(事業情報の共有化)

本省

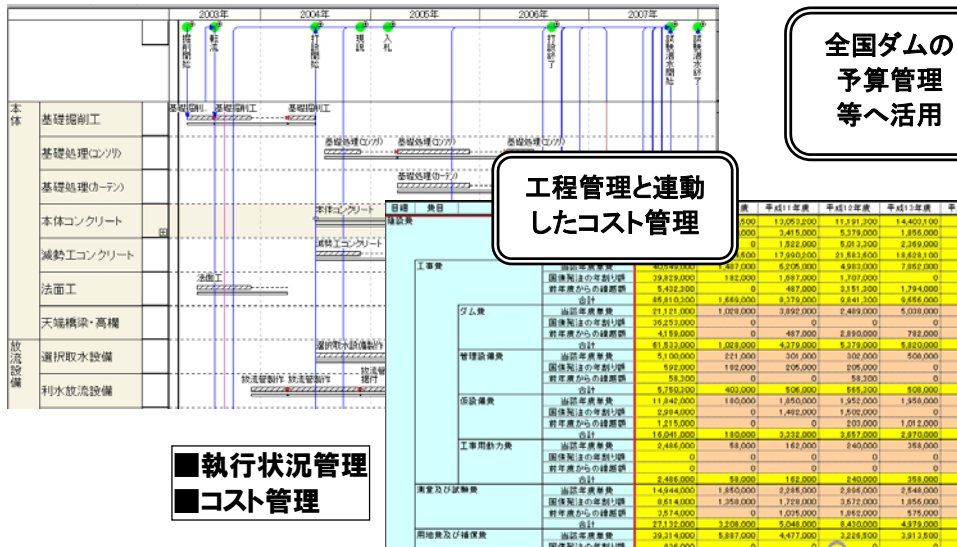
全国ダムの
予算管理
等へ活用

共通PMツール

整備局

事務所

＜システムの本格運用＞
直轄・水機構の全てのダムでシステムを活用予定
○年度途中におけるコスト削減や追加ニーズ等の状況を的確に把握
○上記を踏まえ、ダム間流用を適宜行うなど、効率的な予算執行



■執行状況管理
■コスト管理

計画・設計・施工等あらゆる段階でのコスト削減

★コスト削減マネジメントシステムを構築し、コスト削減への取り組みを全ダムに徹底

事業名	ダム(本ダム)		コスト削減概要		⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒		
番号	分類	区分	④項目	⑤細目	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
1	ダム	本体工	ダム計画	ダム形式・取捨 躯体設計	6	H15	(未記入)	ダム形式を重力式コンクリートから台形CGIに変更した。	△△ダムの事例を見て、再検討を行うこととした。	80,000	10								
2					7	H10	(未記入)	躯体勾配を変更し、掘削量等を	H10土木研究所との打合せにおいて、歩留り率の方法を検討	30,000	26								
3										7,000	1.8								
4										20,000	6								
5																			
6			転流工	仮設切工	1	H17	(未記入)	従来の簡易材料であるコンクリートでの代りに、現場を材料センターで受渡し施工するCGS工法を採用することにより、コスト削減を図る。	△△ダムの事例を見て、再検討を行うこととした。	10,000									
7				仮設水路工	1	H17	(未記入)	断面縮小及び延長の見直し	H16土木研究所との打合せにおいて指導された。	30,000	1.2								
8				覆土工	2	H20	(未記入)												
9				その他			(未記入)												
10			本体掘削	掘削	7	H15	(未記入)	掘削きの掘削勾配を地質状況を加味して下流上り勾配で施工することにより掘削量・躯体量を低減する	H15土木研究所において、掘削形状を										
10-1				掘削	1	H17	(未記入)	造成アバウトメントにより、掘削量、法面工を低減する。	他ダムにおいて実施していたため、比較の対象とした。	30,000									

全国の直轄及び水機構の全ダムでチェックシートを作成し、ダム毎のコスト削減の可能性をもれなくチェック

全国のダム事業へフィードバック

○収集事例を分析、評価し、適用条件、効果、留意事項等を整理しデータベース化
○各ダムの取り組みを恒常的に支援する体制を組織しバックアップ

＜約1,000件のコスト削減事例＞ (件数)

実施中、実施済みのコスト削減策	
ダム本体	380
付替道路	476
その他の工事	69
合計	925

★個別ダムにおいても、原則全ての本体発注工事などで新たな入札契約方式の検討等
★コスト削減額等は、ダム間流用の弾力的実施などにより、ダム事業全体で有効に活用